

WHITE PAPER  
ON THE ENVIRONMENT  
IN SUITA 2019

吹田市環境白書 2019

---

## はじめに

昨年10月、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、「パリ協定」の2015年採択時の要請を受け、1.5℃の気温上昇にかかる影響やそれに対する適応、温室効果ガスの削減等に関する「1.5℃特別報告書」を公表しました。この「1.5℃特別報告書」も踏まえて、昨年12月に開催された国連気候変動枠組条約第24回締約国会議(COP24)においては、「すべての国に共通に適用されるパリ協定の実施指針の採択」等の成果が挙げられました。

我が国においては、昨年12月に気候変動適応法が施行され、「適応」についての取組が進められているほか、本年6月には、最終到達点としての「脱炭素社会」を今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指した「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」が閣議決定されました。

また、本年5月には「プラスチック資源循環戦略」が策定され、「3R + Renewable」の基本原則に基づき、2030年までに使い捨てプラスチックの排出を25%抑制する等の「マイルストーン」が目指すべき方向性として設定されています。更に、多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進することを目的とした「食品ロス削減推進法」が同月に公布されています。

本市においては、暑夏となった気候の状況等によりエネルギー消費量の削減があまり進んでおらず、またごみの排出量については、昨年大阪府北部地震等の災害時に発生した廃棄物の影響もあり、増加しています。今後、エネルギー消費量やごみ排出量の削減のため、ライフスタイルや事業活動の転換に向けたさらなる取組が必要です。

本市は、これらの取組を進めるために、引き続き「第2次環境基本計画 改訂版」、「地球温暖化対策新実行計画改訂版 すいたんのCO<sub>2</sub>(こつこつ)大作戦R」、「吹田市一般廃棄物処理基本計画 後期改訂版」を着実に推進します。

本書は、本市が実施している環境施策の進捗状況と環境の状況についての報告書です。本書をとりまとめることで、環境基本計画に掲げた目標の到達度合いを確認し、施策の見直しや充実を図ります。あわせて、身近な環境に関心を持ち、自らのライフスタイルを環境の視点から見直すきっかけとなれば幸いです。

### —環境白書の編集について—

この環境白書は、吹田市環境基本条例に基づいて毎年発行しているものです。

令和元年版(2019年版)は、データや集計結果については、平成30年度(2018年度)における実績をとりまとめました。それ以外の記述は、令和元年(2019年)10月初旬時点での状況です。

本書は、現在課題となっていることにスポットをあて、まとめています。詳細なデータは資料編にまとめ、吹田市ホームページに掲載しています。本書とあわせてご活用ください。

# 目次

第1章 吹田市の環境政策	1
第2章 目標達成への施策の展開	
第1節 エネルギー	3
限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	
第2節 資源循環	11
資源を大切にする社会システムの形成	
第3節 生活環境	15
健康で快適なくらしを支える環境の保全	
第4節 みどり	25
みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	
第5節 都市環境	29
快適な都市環境の創造	
第3章 重点プロジェクト	35
第4章 環境基本計画に基づく進行管理	37
資料編 環境まちづくりデータ	39
(資料編の内容は吹田市ホームページに掲載しています。)	
1 環境基本計画	
2 環境関連条例	
3 環境基本計画の進行管理	
4 環境関連資料	
5 吹田市まちづくり用語集	
6 環境年表	
7 環境記念日	